

生物多様性あかし戦略(素案)について

1 概要

本市では、2011年（平成23年）3月に「生物多様性あかし戦略」を策定し、生物多様性の保全にかかる施策を実施してきました。

2023年（令和5年）3月には、国が「生物多様性国家戦略」を改定し「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を掲げたことを踏まえ、同年10月に明石市環境審議会に諮問し、国家戦略などとの整合を図り、明石の自然環境の変化に合わせた「生物多様性あかし戦略」に改定するものです。

2 計画素案の骨子

(1) 計画期間

2026年度から2050年度までの25年間

※短期的には2030年度を短期目標年度に設定し、ミッション達成を目指す。

(2) めざす環境像

「人と自然が共生する“あかし”を未来につなぐ」

(3) 施策体系

2050年 ゴール（基本方針）

健全な生態系を保全する

健全な生態系を保全することで生物多様性の損失を止め、生物多様性が豊かに保たれている場所や生きものを引き続き保全します。

劣化している生態系を健全にする

劣化している生態系を健全にすることで、生物多様性の回復を目指します。また、生物多様性が損なわれている場所や新たに生物多様性を確保できる場所での健全化を目指します。

生物多様性を普及啓発する

市民の皆様には生物多様性の大切さを理解いただく取り組みを行います。

2030年 ミッション（基本施策）

①「大切にしたい場所」を適切に維持管理します

②より積極的に保全・向上させていく仕組みをつくり

③地域の生態系を保全します

④「種の多様性」を保全します

⑤各生態系の種の現況を把握します

⑥企業や大学等と協働して生態系を保全します

⑦在来種に影響を及ぼす外来生物を除去します

⑧市街地で新たな生態系を創出します

⑨グリーンインフラの活用を検討します

⑩沿岸海域で新たな生態系を創出し豊かな海づくりを推進します

⑪生物多様性への関心を高める取り組みを行います

⑫自然に触れ、感じることを通じて生物多様性を学び、理解を深める取り組みを行います

⑬生物多様性の普及啓発を行う人材を育成します

(4) 戦略に新たに取り入れた視点

陸域・海域におけるの保全目標	陸域では、自然共生サイトの認定を目指すこと、海域においては、藻場の造成等を行うとし、国家戦略の行動目標である陸域の30%、海域の30%以上を保全する「30 by 30 目標」の取り組みを反映
重要な保全場所を示した	重要なため池や自然が多く残る場所を示し、保全すべき場所として明示
地域で活躍する専門家や市民団体の意見を反映	生物多様性あかし戦略推進会議を3回開催し、明石の自然環境の変化に対応するため必要な取組に対する意見をいただき、戦略に反映
市民の意見を反映	ネイチャーツアーや市民ワークショップ、生物多様性フォーラムを計7回開催し、明石の自然環境の未来像やその実現に向けた取組みについて市民の意見を伺い、戦略に反映

3 今後の予定

- 2026年1月 パブリックコメント
2月 明石市環境審議会自然環境部会（最終案のとりまとめ）
3月 明石市環境審議会からの答申
生活文化常任委員会（最終案についての報告）
改訂後戦略の策定・公表